

CO₂（二酸化炭素）測定について

保健給食課

換気が十分できているか確認するため、1か月に1回、教室内の二酸化炭素の調査を行います。

二酸化炭素上昇 = 換気不十分ということ

（空気感染、飛沫感染する感染症はリスクが高くなる。）

*大気中の二酸化炭素濃度は、通常 300~400ppm。人の呼気で上昇する。

*二酸化炭素濃度が上がると、感染症リスクだけでなく、頭痛や眠気、倦怠感や吐き気、集中力がなくなるなどの症状があらわれる。

- 方法**
- ・月初めになったら保健給食課員から測定器と記録用紙を受け取り、書いてある順番に回していく。
 - ・測定器を教室に置き、朝の会、給食中、帰りの会の3回数値を記録する。
 - ・放課後充電する。
 - ・翌朝、記録用紙と測定器を次のクラスにまわす。
 - ・全クラス終わったら、測定器と記録用紙を保健給食課員へ提出する。
 - ・記録用紙は、保健室で管理する。

判定 教室内のCO₂基準は 1,500ppm 未満
食事中は 1,000ppm 未満が望ましい

対応 800ppm を超えていたら、換気を十分に行う。



<記入用紙 例>

教室	実施日		CO ₂	温度	湿度	対応したこと
小1-1 (入口付近)	11月4日 (木)	朝の会	600	21	45	
		給食	1010	23	35	換気と加湿
		帰りの会	700	22	50	
小1-2	月 日 ()	朝の会				
		給食				
		帰りの会				